東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ
ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2313回例会　2014.6.19

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
山本例会運営委員

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」

◆ソングリーダー：
飯田会員

■お客様紹介：
町田パスト会長

◆ゲスト：白河南ＲＣ
福山吉英様

■会長報告　野村会長

クロネコヤマトに学ぶ

皆さんこんにちわ。先日ある記事を読んでいて良い話だなと思ったので、皆さんに紹介しようと思います。皆さんも日常的に利用しているクロネコヤマトのお話です。宅急便の事実上の創始者である小倉昌男氏は「小口の荷物はペイしない」という運輸業界の常識が支配している中で、緻密な分析と大胆な仮説で、宅急便の有望性を確信し、旧運輸省の旧態依然たる規制に真っ向から挑戦し、1976年1月に取り敢えず関東一円範囲とした宅急便事業を開始しました。現在の全国網羅した配送は周知の通りです。クロネコヤマトの年間取扱個数が、14億個に達しているそうです。また、羽田空港近くに大物流拠点と沖縄国際物流ハブを活用した「国際宅急便」のサービスも始まっています。その小倉氏の言葉に「サービスが先、利益は後」という言葉があるそうです。利益はいらないということではなく、「お客様に喜ばれるサービスを開発し、価格は利用しやすい水準に留める。そうすれば重要は拡大し、利益は後から必ず付いてくる」という意味だそうです。そこで當麻さんが職業奉仕委員長の時に貰った、近江商人の小雑誌を覚えていますでしょうか？「売り手よし、買い手よし、世間よし」の商業理念とは、またちょっと違う商売に関する象徴的な言葉だと思います。でも近江商人の故郷「五個荘」という地域があり、室町時代から明治時代に掛けて活躍した近江商人を多く排出した地域です。革新的な商法と不屈の精神、そしてお客様の喜ぶ顔を心の糧として、全国に行商し、やがて豪商へと出世していった邸宅が一般に公開されています。その五

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　　FAX　042-395-1166

個荘町が発行している「近江商人物語　大福帳」という小冊子の中に、「義理を第一に考え、利益追求を後回しにする事が商売繁盛に繋がる。商売が繁盛し、富を得ることは良いことであるが、その財産に見合った徳、すなわち人の為になる良い行いをしなければ成らない。」と書いてあるそうです。小倉氏の経営哲学である「サービスが先、利益は後」に通じるものだと思い歴史に学ぶ大切さを改めて教えて貰いました。

それと報告ですが、14日に国際基督教大学内にある「東ヶ崎潔記念ダイアログハウス」で開催されましたロータリー平和センターでのセミナーに参加してきました。後程回覧いたします。国際会議場・研究者寮・短期留学生寮・付随した食堂等素晴らしい環境でした。大学自体も森の中にあるような環境で、実に羨ましい施設でした。ここでポリオ撲滅の次に重要な「平和と紛争予防・紛争解決」をめざして、世界の7カ所中の1ヵ所であるロータリーの研究機関です。今年卒業する研究生の発表に対する質問等もすべて英語で、ここだけ日本では無いのではと感じて参りました。

その後東村山市に戻り、東村山市国際交流のウェルカムパーティーに出席しました。インディペンデント市から9人の高校生が、来日しそれぞれホストファミリーと顔合わせをし、大変和やかな時間を過ごしました。14日の1日は、国際色豊かな日でした。

■幹事報告　石山幹事

■R財団委員会　資金推進委員会：
ＥＲＥＹ(毎年あなたも100ドルを)クラブを目指しましょう！
クラブに対する「ＥＲＥＹクラブ」について

■東京福生(中央)ＲＣ：
Ｉ･M報告書の受理と「ロータリー希望の風奨学金」支援の礼状の受理

■名古屋守山ＲＣ：
創立50周年記念式典のお礼と記念品の受理

■回覧：ハイライト米山

■退会のごあいさつ

■神崎会員

皆さんこんにちは。大変ご無沙汰いたしております。仕事の都合で退会することとなりました。1年もしくは2年後には必ず帰って参ります。お世話になりありがとうございました。忘れないでください。

■出席報告　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	24	0	4	85.71

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：4名
■前々回出席率メークアップ修正後：85.19%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　西河クラブ管理委員

■皆出席：
小町会員(5回目)

■令夫人誕生祝月：
中條会員

◆野村会長、石山幹事：
白河南ロータリークラブの福山様、シドニー世界大会ではお世話になりました。例会までお越しいただきありがとうございます。神崎会員お久しぶりです。ようこそ！五大奉仕委員長の皆さん本日の発表よろしくお願いします。
◆神崎会員：大変ご無沙汰致しました。皆様が相変わ

らずお元気で嬉しく思います。本日はあまり良い話ではないのですが、一時休会させて頂き度寄せてもらいました。私が会長になり次第、又入会させて貰います。

◆戸澤会員：社長交代して2年経ちました。新社長に代わってから会社の業績も上がっており、工場も手狭になり所沢市場の仲買店舗の空き区画を居ぬきで借りることにしました。80坪の作業場と40坪の冷蔵庫がついており、駐車場は使い放題です。今月から稼動しています。

◆福　山　様：先日の世界大会では、会長様、幹事様はじめ皆様に大変お世話になりました。

◆當麻会員：福山様ようこそいらっしゃいました。

◆野澤会員：昨日、職業奉仕最後の研修が無事終了し、打ち上げも盛大に出来ました。ご協力ありがとうございました。福山さん、神﨑さん、ようこそいらっしゃいました。お久し振りです。ごゆっくりどうぞ。

◆相羽会員：福山様、先日はオン・ツー・シドニー世界大会参加頂き、楽しく旅が出来、ありがとうございました。神﨑さんしばらくぶりの出席お待ちしておりました。

◆戸澤会員：神﨑さん、福山さん、お久し振りです。ようこそ。

◆山本会員：ダンディ神﨑さん、お久しぶりにお元気な顔が見れて嬉しいです。

◆嶋田会員：今日は早退させていただきます。

本日のニコニコ合計：　35,000円
累　　計　：1,383,324円

■委員長報告

■野村（裕）歩こう会会員

7月19日（土）、歩こう会を予定していますので、是非日程を抑えて参加してください。

■クラブ協議会（1年を顧みて）

■司会：石山幹事

■赤木クラブ奉仕委員長

本年度、野村会長は多くの諸先輩が築いて来られた伝統と由緒あるクラブを更に飛躍させるために「話と和で輪を広げ、ロータリーをもっと身近に」をテーマに五つの活動方針を掲げスタートいたしました。

ロータリークラブは幅広い年齢層又多種多様の職業人の集まりです。だからこそ調和のとれたクラブ運営が大切になります。これを実現するために炉辺会合、夜間例会及びゴルフ、歩こう会、家族親睦旅行等の行事を行い楽しい例会・クラブ運営を目指し一年間活動いたしました。

例会運営委員会は、山本委員長・各委員皆様のご協力により会場設営、例会進行等スムースな例会運営が行われたことに感謝申し上げます。

プログラム委員会におきましては、村越委員長はじめ各委員のお陰で一年間例会が楽しく過ごせたことに感謝申し上げます。

クラブ管理委員会は大変な仕事であります。週報の作成、又各種親睦行事の企画、実行等。特に夏の家族親睦夜間例会の花火見物は、45名もの大勢の参加となり大変盛況でした。

会員研修委員会は小町委員長・中丸・山本会員の会長経験者によりロータリーの友を中心として情報の発信を行っていただきました。

クラブ奉仕部門としましては、各委員長さんのご協力により全体としてクラブ運営はスムースに行われたと思っておりますが、反省すべき点も感じております。この経験を活かして次期以後のクラブ運営に役立たせたいと思っております。

■野澤職業奉仕委員長

今年度職業奉仕委員会としては研修を主に活動計画をたてました。ロータリーでの各種奉仕活動の中でも、独特の職業奉仕について入会歴の浅い会員を中心に勉強会を実施してきました。併せて地区職業奉仕委員会にも参加してきました。

■2013年8月11日
第一回　クラブ研修会
「ロータリーとは　基本的な知識について」

■2013年9月25日
第一回　地区職業奉仕セミナー
（野村会長、野澤委員長参加）
「日本における商人の道と心」
「江戸時代の商業道徳について」石門心学と現代

■2013年10月3日
職業奉仕月間に因んで　委員長卓話
「職業奉仕発生の原点」－－1

■2013年11月26日

第二回　地区職業奉仕セミナー
（野村会長、野澤委員長参加）
「ロータリー物語」ポール・ハリスの生い立ち
「職業奉仕の思想とロータリーの発展」
■2014年3月13日
第二回　クラブ研修会
「ロータリー物語」ＤＶＤ鑑賞
「職業奉仕の原理と実践」
■2014年5月16日
第三回　地区職業奉仕セミナー
会員親睦旅行のため不参加・・・残念
■2014年6月18日
第三回　クラブ研修会、打ち上げ
「職業奉仕発生の原点」－－2　これぞ職業奉仕!!

以上、ほぼ計画通り実施できたと思います。この記録を小冊子にまとめ、後日皆様にご配布する予定です。

■戸澤社会奉仕委員長

当クラブの社会奉仕委員会は長きに渡り市の産業祭でフランクフルトやごぼう、たまねぎ等の販売をして、その収益金を交通少年団、消防少年団へ寄贈してきた。1月の5大奉仕の発表の時に話しをしましたが、昨年産業祭が始まる直前に市の産業振興課の課長に連絡をしたところ、ロータリークラブの毎年取ってあるブースは、本来公共のブースの為、物販をするには、フランクフルトの販売には保健所の届出をしていただき、ブースは別の場所になる、たまねぎ、ごぼうの販売も同じく事前に届け出ていただき、実行委員会でブースを決める事になっているのですが、過去に我々の先輩が産業祭の時には市の実行委員会に対して5万円を寄付し場所も恒例になって、いつもの場所が決められていた。本来ならば事前に出店登録をし、届出が必要でしたが、省略して恒例の場所が決められていた。本来ロータリーは公共の場所のブースなので、今年の産業祭の時には産業振興課と事前に寄付の件と出店についてよく話した方が良いと思いますので次年度の小町社会奉仕委員長に申し送りいたします。

職場体験について
東京都は中学校に3年間で5日間の職場体験を義務づけておりまして、自己の将来進むべき職業の探求、見極めをする重要な体験になります。しかし、職場体験を希望している学生の受け入れ職場が少ない為、受け入れ職場を増やすよう、次年度、小町社会奉仕委員長に申し送りいたします。

■相羽国際奉仕委員長

今年度の国際奉仕委員長を拝命し、国際奉仕委員会に、ロータリー財団委員会、樺澤委員長、米山奨学委員会、野村委員長が属されており、各委員会の活動報告をさせて頂きます。初めに国際奉仕委員会からの報告をさせて頂きます。国際ロータリー第2580地区が38年前からフィリピンバギオ地区の子供たちに長年に渡り奨学金を送り支援してきました。委員長として今年度初めての参加でしたが、2月7日から11日まで、バギオ地区の子供たちと触れ合ってきました。あまりにも悲惨な生活環境には衝撃を受け、日本の平和過ぎる生活に疑問を感じてしまいました。また今年度の事業計画に挙げさせていただきました、カンボジアの子供たちに綺麗な水をプレゼントを、と、会員の皆様に寄付をお願いし、お陰様でカンボジアの農村地帯に井戸を4ヶ所寄贈させて頂き、私は責任者として4月25日～29日まで寄贈した4ヶ所の井戸全てを視察してきました。井戸はコンクリートで枠組みされ、手押しポンプが設置され、周りは木製の柵で囲いがされ、個々の井戸に寄贈ナンバー、寄贈者、寄贈年月日が記された看板が立てられており、とても綺麗に出来ておりました。また国際奉仕の一大イベントのオンツー・シドニー世界大会参加も何ら事故もなく無事終了する事が出来感謝しております。

■ロータリー財団委員会(樺澤委員長)
一.寄付金
年次寄付には、27名の会員からご寄付を戴き、内、25名の会員から150米ドル、または150米ドル以上のご協力を戴きました。また、1名の会員からポリオプラス基金に多額のご寄付を戴きました。
したがって、長期欠席者及び途中退会者の3名を除いて、28名の会員からご協力を戴き、本年度に6名の会員(嶋田、野澤、戸澤、町田、石山及び樺澤会員)がポールハリスフェローになられました。
また、2名の会員(田中、石山会員)がベネファクターの栄に浴されました。誠にありがとうございました。

二.地区補助金
我がクラブでも、会員の皆様から戴いた年次寄付の基金から地区補助金、グローバル補助金などを有効に活用して奉仕活動を行うべきであると考えますが、2015～2016年度の地区補助金の申し込みは本年9月頃と推測され、次の年の2016～2017年度は、我がクラブの創立50周年になります。そこで、地区補助金を有効に利用する奉仕活動を早急に策定する必要があると考えますが、本年度は残念ながら実行できずお詫び申し上げます。

三.ペットボトルのキャップ回収
会長から要請のありましたペットボトルのキャップを回収し、ロータリー財団のポリオプラス・プログラムの活動資金の一助にする奉仕活動ですが、キャップをロータリー財団のポリオプラス・プログラムの活動資金とする方策が見当たらず、断念いたしました。

■米山奨学委員会(野村委員長)
事業計画
1.米山奨学会の現状と情報提供を行い、支援活動の認識を深める
2.米山月間には支援意識の向上を図る
3.寄付金に対する認識を深める

1について
6/5米山奨学会セミナーに参加し、委員長として認識を深めた。例会で報告。

2について
10月の米山月間を意識し9月の例会に米山奨学生陳さんを呼んで卓話を行った。

3について
普通寄付に加えて、特別寄付を実践していただいた。
併せて、寄付金箱を約2ヶ月まわして当初目標の＋αの額を上乗せ出来た。
結果　一人当たりの平均寄付金
　　前年8,620円→本年15,400円
野崎一重会員が地区の副委員長である。情報提供を受け、活動の指導を頂き例年以上の寄付金活動に繋がった。

■中條青少年奉仕委員長

　全国納税者貯蓄組合連合会と国税庁で47年の歴史ある事業、全国の中学生から「税についての作文」を募集しており、平成25年度は全国で7,248校の中学校から583,142編の応募があり、都内では690校の中学校から74,744編の作品が寄せられ、東村山税務署管区では4,645編で、全国でも9番目の応募がありました。
　この事業へ「東京東村山ロータリークラブ会長賞」を新設し、明るい社会へ、未来を担う子ども達の納税道徳向上を目指し、協賛することを柱としました。
　また、職場体験のお手伝いを積極的に行いました。
　また、各地区での青少年活動のアンケートを基に、発表を行いました。

■閉会点鐘：野村会長